

STORY

06

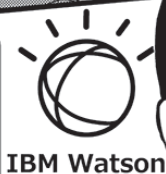
時代に先駆けてきたAI事業の変遷

KIT HISTORY
M A N G A

2015年10月
たまたま参加した
海外医療事例の
セミナーが

木村とAIの
出会いだった

数十万件の
医療論文を読み込み
膨大な情報から
瞬時に答えを導き出す



IBM Watsonに
木村は大きな衝撃を受けた

す…すごい…
これからAIは
なくてはならない
ものになるだろう

ソフトバンクに
連絡
お願いします！

ほどなく
日本語版の提供が
発表されると

その日のうちに
木村は動いた

ank
プレスリリース

IBMとソフトバンク
Watson日本語版を
提供開始

その後
IBM
Watson
日本語版

初の
エコパートナーに
認定され

本家IBMの
エンジニア
精鋭部隊から

なるほど
そう考えるのか！

Watsonの
実務者トレーニングや
ノウハウの共有を
受けることができた

その後の群雄割拠の
AIサービス競争で
できたのは

早期に理解を
深めまいやう!!

木村の初動の早さ
そして「時間を買う」
という橋爪の
判断の賜物だった

様々なAIサービスを
導入いただいた
企業様は
200社以上

AI-Q
[アーク]

AI-Brid

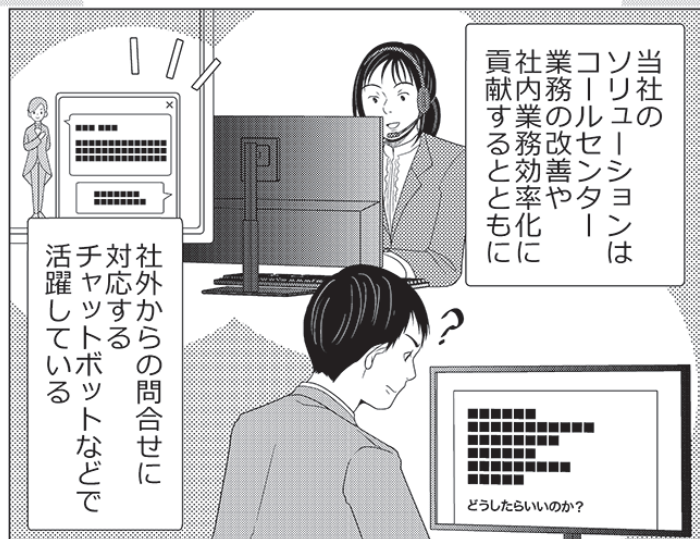
Chat Meet

アイ・ディー・アイ
AI-DI

AI-Detail

AI-PHARMA

2016年11月に
リリースした
チャットボット
AI-Qをはじめ



人工知能に与える
「教育データ」を
いかに作るか」が
大変重要だった



AI市場の隆盛初期は
人工知能の
エンジンはもちろん



当社の提供する
AIチャットボットは

AIエンジンを
活用した開発部隊

デジタル力
×
アナログ力

AI教育データの作成部隊

この強みで他社に比べ
精度を高めることが
できています!!

しかし
暗雲が
立ち込める

先日行われた
〇〇社のコンペですが
受託できませんでした

敗因としては
価格だと
聞いています

サービスの
評価が一番
高かったのですが
最近は価格が
安い企業が選ばれる
傾向が多いですね…

競合が
増えて

チャットの
低価格が
進んでいる
ようです

海外に比べて
国内市場の伸びも
いまいちです

そうですね

価格競争に
巻き込まれて
しまいますね

参入企業の
増加が上回り
過当競争…

あつという間
ですね…

ここまで
ウチのアナログ力と
医療分野への特化

そして
それぞれ精度の
高いノウハウで
他分野でも
喜ばれてきたが
なんとか…

現状のままの
人工知能
ビジネスでは
限界がきている

木村が
危機感を持つ中

さらなる脅威に
襲われることとなる

ChatGPTの
出現である

AI ChatGPT
世界に拡大
NEWS

この技術で仕事の未来は変わるのか？